

京都大学大学院人間・環境学研究科
第40回国際交流セミナー

足利義満と中世京都

日本と海外の研究の融合

日時: 2012年 11月 5日(月)

18:15-19:30 (講演)

19:40-20:40 (懇親会)

場所: 人間棟 105室

講演者: Matthew STAVROS先生

シドニー大学准教授



マシュー・スタブロス先生は、前近代日本史の専門家であり、特に中世京都の空間構造史の研究をしておられます。文献、絵画、指図、発掘情報などの史料を総合的に用いて、歴史的な都市空間・建築などを復元し、当時の実態を読み解くことが研究の最大の目的です。

講演の概要

足利義満はその生涯の中でいくつかの大規模な建造プロジェクトを実行し、中世京都の都市風景を大いに変貌させました。これまで、皇居の再建や室町殿、相国寺、相国寺の塔、そして北山殿の建設についてはそれぞれ単独で研究されてきましたが、これらの建造群の相関関係や中世京都の都市の姿への影響に関してはまだ研究が充分なされていません。本講演では、海外の研究者による最新の研究成果を取り入れ、義満の都市計画理念について新しい解釈を提案して頂きます。ご講演は英語と日本語で行われます。

人間・環境学研究科の外国人客員教授によるセミナーです。専門の異なる院生、教員の皆さんも奮ってご参加ください。懇親会のみ参加も歓迎します。

主催: 人環国際交流委員会

問い合わせ: 国際交流委員・留学生アドバイザー

藤田糸子 (fujita.itoko.7c@kyoto-u.ac.jp)